



Question

高すぎる介護保険料は引き下げを

Answer

市長／引き下げも視野に入れて検討したい



とくみね かずなり  
徳峰 一成  
(日本共産党)

年金受給額と受給者数 (※ 12月15日市長答弁)

年金受給額(年間)	受給者数(人)	割合(%)
50万円以下	1,514	10.7
50~80万円	2,925	20.6
80~120万円	4,684	33.0
120~150万円	1,917	13.5
150~200万円	1,792	12.6
200~250万円	920	6.5
250万円以上	462	3.3
全体	14,214	100.2

**市長** 50万円以下の年金受給者には厳しいものとして認識している。

**問** 本市は、年金受給額が50万円以下が1514人、50~80万円が2925人と、低額の受給者が多い。一方、介護保険料は年金受給額の2割以上が596人、1~2割の高齢者が1127人と大変割高である。市長は、介護保険料は高いと認識されるか。

高すぎる介護保険料の引き下げを

**市長** 年明けの臨時議会に、商品券、農家への肥料支援、医療と福祉を提案したい。

**問** 市独自の物価支援策を聞きたい。

市独自の物価支援策

**市長** できるかどうか、引下げも視野に入れて検討していきたい。

**問** 本市の介護保険は過去3年間、繰越金が3億3千万円から5億6千万円のため、基金保有額は4億6千万円である。歳出での毎年の給付額はマイナス2.2%からプラス1%と、ほぼ横ばいである。財政的に、来年度から7%前後の引下げが可能では

**市長** 来年度当初に、今村副市長を中心に検討委員会を設置し、緊急性の高い施設を優先した予算措置を行いたい。

**問** 全施設の6割が耐用年数を超えている。所見を聞きたい。

施設の老朽化対策を

**市長** 各年の転入者のうち、生産年齢人口(15~64歳)の割合がどう増えたか、年度ごとの目標値を定めて検証していきたい。

**問** この文言は、市長選のメインスローガンであった。今後、決算での検証が必要では。

「子供たちが帰ってきたくなるまちへ」を検証するための基準

ちょっとひとごと

高すぎる介護保険料の、来年度からの7%前後の引き下げは、100%可能です。



改修が必要な市民プール





わたなべ としはる  
渡辺 利治

Question

早い災害復旧は  
市民の安心につながるのでは

Answer

市長 寄州を年度内に取り除く

Link



一般質問の録画

災害対策

問 防災、減災対策の取組は。

市長 自主防災組織による地域住民参加型の訓練研修、防災講話等を実施する。

問 土砂災害警戒区域の数は。

総務課長 637か所あり、ハザードマップ等を活用して市民に啓発している。

問 市道、農道の側線、中央線等の年次計画はあるのか。

土木課長 白線等は令和6年度で5km実施しており、ガードレール等も予算に合わせて設置していきたい。

問 大隅町での豪雨災害対策の経過と計画は。



寄州の状況

市長 菱田川流域治水対策作業部会を設置して、県と5回協議した。今後の計画としては、県が実施した流量などの検証を踏まえ、県・市それぞれ実効性のある対応策を実施していきたい。

問 梅雨、台風を控え、安心な暮らしのために早急な寄州除去が必要なのは（9月議会で質問済み）。

市長 寄州除去については県補正予算が可決され、工事発注済みで年度内には終わる。

第3次曾於市  
総合振興計画基本構想

問 子牛価格高騰による肥育経営対応は。

市長 市単独事業による経営継続を支援するとともに、国・県の補助事業を活用しながら、更なる生産基盤強化に取り組む。

問 農畜産業の維持拡大のための具体策は。

市長 新規就農支援対策事業の年齢制限と所得額制限を撤廃し、ドローン導入の支援と畜産生産基盤施設整備事



県事業で寄州の除去中

業の拡充を考えている。

問 ドーム型牛舎建設費の見直しは。

市長 金額の見直しを考えている。

ちょっと  
ひとりごと

災害は忘れないうち  
にも来る



Link



一般質問の録画

Question

桐原の滝周辺や  
悠久の森については

Answer

市長／継続的に可能な範囲での維持管理を  
検討していく



曾於八景の一つ  
桐原の滝周辺や悠久の森

問 桐原の滝下公園の  
豪雨災害の復旧状況は。

市長 護岸も被害に  
遭っているので県と協  
議中。護岸工事後、早  
急に進める。

問 右岸側遊歩道は。

市長 護岸整備後、予  
算が付き次第工事する。

問 悠久の森は、国有  
林からの木材運搬車の  
往來が激しいが。

市長 把握していな  
かった。運搬指導を  
しっかりとしていく。

問 遊歩道百選の公園  
なので、通行制限はで  
きないか。

耕地林務課長 規制は難  
しい。国有林の伐採、  
運搬は市への届出なし  
で可能である。

問 荒れ果てたままの  
観光地なら、市のHP  
から削除しては。

市長 伐採後の原状復  
旧を徹底し、搬出車両  
を小型化するなど、来  
訪者に配慮できないか  
の申入れは可能だと思  
うので、調査させてほ  
しい。



ゴミ除去急がないと次の大雨が来ます



被災したままの東屋付近

道路行政

問 市長選時に市内各  
地を回られてどう思わ  
れたか。

市長 センターライン、  
停止線が消え、傷みや凹  
み、草木が茂っている箇  
所が多いので、早く対応  
するよう県へ要望した。

問 県道馬渡大川原線  
のキャンプ場入り口交  
差点の大型土嚢は通行  
の邪魔である。コンク  
リート防護壁に変えら  
れないか。

市長 県へ問い合わせ  
る。



この状態がいつまで続くのか

問 5月に出された市  
道新田・阿邪里線の速  
度等に関する嘆願書の  
件は。

市長 なるべく早く対  
応できるように進める。

問 その街道の維持管  
理は。

市長 3者に委託して  
いるが、8月豪雨で遅  
れている。茂った箇所  
を中心に要望があれば  
対応する。

問 次期自治会長名を  
届け出る際に、補修箇  
所等の要望も上げても  
らうか。

市長 マニュアルには  
ないが考えていきたい。

ちよっと  
ひとりごと

桜の季節がもうすぐ  
来るのに公園閉鎖は  
勿体ないなあ





やくし やすひろ  
薬師 康浩

Question

いきいき親水公園について  
修繕がなされない理由は

Answer

市長 / 利用開始から28年ほど経過し、施設の老朽化による安全上の問題もあるため、修繕についてはまた検討する

Link



一般質問の録画

いきいき親水公園

問 いきいき親水公園の総工費は。

耕地林務課長 総額4億2072万7千円で、

県営分2億7千万円、財部町約1億5千万円である。

問 じゃぶじゃぶ池の修繕費総額の見積りは。

耕地林務課長 令和4年の段階で2千万円ほどである。

問 じゃぶじゃぶ池はなぜ修繕されないのか。

市長 令和5年度に漏水の補修を一部行っている。ポンプも3台中2台に不具合が発生し、財部温泉と共同利用の井戸も水量が限られる。真夏に池の水が高温と

なるなど、利用できない状況である。

問 本市の都市公園の数と、合併後に新設された公園の数は。

まちづくり推進課長 次のおりである。

本市の都市公園数 (合併後新設数)	
末吉町	10(3)
大隅町	9(6)
財部町	2(0)
合計	21(9)

問 いきいき親水公園はなぜ都市公園ではないのか。

耕地林務課長 都市公園は国土交通省の管轄であり、整備事業が農林水産省のため、都市公園と定めることができない。

問 財部町の公園の整備の位置づけは。

市長 旧支所の跡地や駅前を核とした、街づくり検討委員会を立ち上げ、その中で議論を進めいく。いきいき親水公園については、検討内容に入っていないが、検討する。

曾於市の景観

問 季節で変わる通学路の安心安全に対策が必要では。

教育長 ガードレールや側溝の蓋などは学校で点検し、教育委員会で集約して関係各課で対応している。樹木については新たな観点を設けて見ていきたい。

eスポーツの活用方針

問 本市におけるeスポーツの方向性は。

市長 SKLV等でのイベント時や福祉施設等で体験できる機会を設けていきたい。



財部小学校の通学路を塞ぐ樹木

ちょっとひとごと

まちづくりに大切なのは市民の想いです！



Link



一般質問の録画

Question

ふるさと寄附金の目標額達成に向けて積極的なPRを行うべきでは

Answer

市長／インターネットや対面によるPRを含めて取組を進めていきたい



とみや せいじ 遠矢 政嗣

ふるさと寄附金

**問** 市の財政健全化に向けて市長の掲げる「ふるさと寄附金30億円」は是が非でも取り組まなければならぬが、現時点での寄附額は。

**市長** 11月末時点で、約10億3131万円である。

**問** 昨年同時期との比較は。

**商工観光課長** 昨年同時期約6億5984万円に対して、本年は3億7146万円多い状況である。

**問** 増えた要因は何か。

**商工観光課長** 9月末でふるさと納税のポイント制度が廃止されることによる、駆け込み需要が要因であると考えられる。

**問** 竹田市長就任によるふるさと寄附金の効果は。

**商工観光課長** 9月以降、様々なふるさと納税のイベントに初参加のものも含めて参加しているが、具体的な効果は把握できない。



9月に開催された楽天超ふるさと納税祭り

**問** 総務省の調べによると、ふるさと納税を利用したことがないという人が一定数いるが、そういった方へのPRはできないか。

**市長** これからも全国各地さまざまな場所に赴き、ポータルサイトだけに留まらない本市へのふるさと寄附金のPRを行っていききたい。

交通弱者への支援

**問** 市の計画にある思いやりタクシー、思いやりバスの運行状況について、地域の需要とマッチしないところが見られるが、改善は図られたか。

**企画政策課長** 現状では要望に応じた路線や時間の変更が困難な状況である。

思いやりバスについては、これまでどおり財部駅から曾於医師会立病院までの路線を運行している。

**問** 市の思いやりタクシーを都城に走らせることはできるか。

**企画政策課長** 技術的には可能だが、都市市にも許可を取る必要がある、そこに経済的な影響が生じるために民業圧迫にもつながってしまいうため、現実的には難しい。

**問** 第2次曾於市総合振興計画にある本市周辺自治体との連携は、公共交通という分野で図られているか。

**企画政策課長** 12月から宮崎交通のバスがメセナ住吉交流センターへの乗り入れを行うようになった。今後も課題解決に向けて取り組む。

ちょっとひとごと

交通弱者へのきめ細かい支援を！





Question

空き家や耕作放棄地から  
雑草が敷地内に伸びてくるが  
市の対応は

Answer

市長／所有者との絡みもあるが、  
スピーディーに対処していきたい

Link



一般質問の録画

**土木課長** 要望があれば、シルバー人材センターや道路維持班で対応している。

**問** 高齢化率が上がり、市道清掃など自治会の負担が大きくなっているが、市の対応は。

高齢化率 50%以上の自治会

	自治会 / 総自治会数	全体の割合
2015年	213/482	44.1%
2020年	297/467	63.5%
2025年	350/447	78.2%

全体に対する割合も年々増加している

**市長** 次のとおりである。

**問** 高齢化率50%以上の自治会数は。

草刈りの負担軽減

**まちづくり推進課長** 所有者に連絡を取り、対応してもらおう。対応がない時は再度、連絡して

**問** 空き家や耕作放棄地から、雑草が敷地内に伸びてくるが、市の対応は。



急斜面での作業は滑落の危険性あり

**教育長** 安全が最優先なので、危険作業は控えてほしい。危険箇所は、学校から市へ相談、要望をしてもらい、対応していく。

**問** 学校の急斜面での草刈りは危険を伴うが、市の対応は。

ふれあい・いきいきサロン活動

年度	団体	参加延べ人数
R5	58	6,988
R6	54	6,160
R7	53	未集計

曾於市社会福祉協議会からの助成金を活用  
年間 5,000 ～ 15,000 円の補助

**市長** 次のとおりである。

**問** サロン活動を開催している団体の数及び、参加者数の推移と補助は。

地域サロン活動

**市長** 空き家活用が大事。スピーディーに対処していきたい。

いる。2022年に法令が変わり、敷地内に入ってきた草は刈ることができるようになった。

ちょっとひとごと

草刈り等の問題は  
悩まずに市役所に  
連絡しましょう

※掲載以外の質問項目  
「曾於市総合大学」

**市長** 人と話をすることは重要。体操やグラウンドゴルフなど健康寿命の延伸になるので推進していきたい。

**問** サロン活動について、今後の方向性は。

高齢者元気度アップ地域包括ケア推進事業

年度	団体	参加延べ人数
R5	93	27,649
R6	110	37,588
R7	111	未集計

県の補助金を利用した  
高齢者地域支えあいグループポイント事業  
体操教室の開催・運営で  
1ポイント = 千円の商品券と交換

Link



一般質問の録画

Question

観光の導線作りを積極的に取り組むべきでは

Answer

市長／観光協会以外のサイトでも情報発信に努めたい



やまなかまさひと  
山中雅人

本市の観光戦略

**問** 都城市では市のホームページに迷うことなく観光ができるよう5つのモデルコースを掲載している。本市でも取り組むべきでは。

商工観光課長

観光協会

を中心に「そおたび」として取り組んでいるが、コースのページまでたどり着きづらいところもあるので、近いうちに変えていきたい。

**問** 本市の芙蓉部隊は戦後80年でテレビでも特集されるなど注目が集まっている。平和資料館として分けて展示する試みを進めては。

教育長

埋蔵文化財セ

ンターの資料と旧町の文化資料を集約した資料館を設置後に、平和資料館開設を検討していきたい。

令和3年12月の1日あたりバス停別乗降客数

停留所別乗降客数ランク	バス停数	割合
50人以上	1	0.3%
30人以上50人未満	1	0.3%
20人以上30人未満	2	0.5%
10人以上20人未満	3	0.8%
5人以上10人未満	7	1.9%
2人以上5人未満	29	7.8%
1人以上2人未満	45	12.1%
1人未満	152	40.7%
乗降なし	133	35.6%
計	373	100%

曾於市地域公共交通計画より

地域公共交通計画



国指定の文化財に指定された溝ノ口洞穴  
都城市の関之尾とも人の流れを繋げていくべき

**問** 思いやりタクシーの停留所利用率を見ると、以下のように1人未満、乗降なしで75%を超える状態である。どのような問題意識を持っているか。

市長

市民からも行きたい時間と思いやりタクシー・バスの運行時間が合わないという声を聞いている。

**問** 以前、五位塚前市長に同様の質問をしたところ、都城市など市外の利用についてアンケート調査なども検討したいと答弁があった。その後調査を行ったのか。

企画政策課長

アンケート

調査は行っていないが、利便性などに課題があることは認識している。

**問** 志布志市では「チョイソコしぶし」というデマンドタクシーを運行している。本市も検討を進めていくべきでは。

志布志市ホームページより

令和4年10月から本格運行を実施しております。



志布志の「チョイソコしぶし」利用料 200円  
連絡したら来てくれるタクシーがあると便利ですよね

企画政策課長

交通空白

地域に認定されるエリアがないとデマンドタクシーなどの導入は難しいと考えられる。

ちょっと  
ひとりごと

曾於市の誇る文化財  
もっと日本中に  
知ってもらおう取組を





なかぞの かずき  
中園 和樹

Question

市長の考えをダイレクトに進めるようなチームは

Answer

市長／直属のチームはなく、各課で対応している

Link



一般質問の録画

本市の産業との連携

本市の地場産業の担当部署は、次のとおりである。

各産業の担当課

業種	担当課
農業	農政課
林業	耕地林務課
畜産業	畜産課
建設業	まちづくり推進課、土木課
医療業	保健課、こども未来課
福祉・介護業	福祉介護課
商工業	商工観光課
市内企業	企画政策課

各産業の青年部活動があるが、団体数・構成人数など把握しているか。

市長 農業関係では5団体あり、曾於市ヤングファーマーズクラブは23人、各町の茶業青年の会は末吉町7人、大隅町5人、財部町12人、JAそお鹿児島青

壯年部は末吉支部12人、大隅支部42人、財部支部14人、商工業関係では、商工会青年部は末吉支部21人、大隅支部10人、財部支部11人と、いうことを把握している。

今年度行われた共同事業をきっかけに、各青年部の交流が活発になっていく。既存の縦割りの対応を超えた「横のつながり」を支援するような施策は。

市長 現在はないが、若い働き手の活動を支援できる施策について、今後協議する。

子ども向け予防医療

子どもたちの口腔健康を守るための「フッ化物応用」は、その有効性・安全性に関する証拠が確認されている。本市の取組は、

市の幼児健診において、保護者の同意のもと、フッ化物歯面塗布を行っている。また、市内16保育施設のうち、13施設でフッ化物洗口を実施している。

他自治体では多くの学校で集団フッ化物洗口事業が導入されている。本市では令和2年まで検討されたが、その後の調査や研究は、令和2年以降、コロナ禍もあり、特に調査・研究はしていない。昨年度から、先進自治体の状況確認や研修会への参加等を行っている。

子どもたちの成長と健康で豊かな生活、また、市の医療費抑制の観点から、学齢期の集団フッ化物洗口事業の導入について考えは、

行政や学校、家庭などで様々な取組を進めてきた結果、子どもたちのむし歯保有

率は年々改善され、全国平均並みの数値となっている。改善が進まない場合には、選択肢の一つとして考えている。

本市の美味しい商品や食材を市民が楽しみつつ情報を発信してもらうためにも、歯の健康を守ることは重要では。

小中学校での集団フッ化物洗口による効果が全国的に出ていることは確認している。教育現場と協議を進めていければと考えている。

ちょっとひとごと

小中学校時までフッ化物洗口を継続して生え変わった永久歯まで強い歯に！



Question

地元企業と連携した  
インターン制度の導入は



Answer

市長／若者の地域定着や市内企業の人材確保支援を目的として、市内企業が実施するインターンシップの受入れに係る費用（交通費・宿泊費等）の一部を助成する制度の創設を検討する

地元企業と連携した  
インターン制度の導入

**問** 鹿児島市は、市内企業が新規採用社員の日本学生支援機構奨学金の返済の肩代わりをした場合、奨学金代理返還支援制度導入促進補助金を交付している。本市も取り組む考えはないか。

**企画政策課長** 来年度以降、市内企業採用の社員の奨学金を一年分まとめて代理返還した場合に、市が企業に次年度以降に支払う制度を検討している。

**新規就業者及び  
新規就業者の支援強化**  
**問** 具体的にどのような支援を考えているか。

**市長** これまでの年齢制限55歳以下と、所得制限600万円以下を撤廃し、新規就業者・

新規就業者の確保に取り組みたい。

**問** 過去5年間の実績は。

**市長** 次のとおりである。

年度	新規就農者(人)	新規就業者(人)
令和2	8	8
令和3	5	13
令和4	8	9
令和5	2	11
令和6	4	11

**問** 令和7年に実施された農林業センサスで、基幹的農業経営体が5年前より25%減少したと報道があったが、市の状況は。

**農政課長** 次のとおり

である。

調査年	経営体数
平成22年	3,168
平成27年	2,341
令和2年	1,687

**問** 親の経営を引き継がない新規就業者もこれまで2年間の助成だったが、3年間に延長できないか。

**市長** 新規の場合には、機械等の初期投資がかなりかかるので、今後検討する。

ふるさと納税

**問** ふるさと納税30億円を実現するため、組織体系の見直しが必要であると思うが、来年度以降の対策は。

**市長** 来年度、商工観光課内に室を新設し、職員を増員してふるさと納税を含んだ市のPR強化を実施する。

**問** ナンチクが県内で飼育されている未経産の雌でオレイン酸含有率55%以上の黒毛和牛の新ブランド「黒乙女55」を立ち上げたが、ふるさと納税の返礼品としてPRすべきではないか。

**市長** ナンチクとタイアップして推進していきたい。

自主財源確保のため  
ふるさと納税の  
増額を！



せとぐち えり  
瀬戸口 恵理

Question

老朽化した公共施設の  
中長期的な計画は

Answer

市長/来年度、何らかの形で検討委員会を  
実施したい

Link



一般質問の録画

公共施設の管理

問 公共施設等総合管  
理計画の進捗は。

市長 施設の保有面積  
を平成27年度から10年  
で16%削減する目標に  
対し、令和6年度末時  
点で8%増である。

問 管理計画が現状と  
合っておらず、市民が  
老朽化施設の今後を知  
る機会が少ないために  
不安を感じているので  
は。例えば、財部さら  
めきセンターは。

市長 管理計画は令和  
7年3月に改訂してい  
るが、検討委員会中で  
身を見直す必要がある。  
さらめきセンターや旧  
財部支所跡地、スクラ  
ブからの導線等は、財  
部支所を中心として、  
民間とともに活用検討  
委員会を立ち上げたい。



電球が切れたままの財部地区体育館

問 トイレの洋式化率  
は。

市長 市営住宅や学  
校施設等を含めると  
76・4%である。文化  
施設、体育施設、社会  
教育施設に限ると48%  
である。

問 施設のネット予約  
は。

市長 全課一斉スター  
トを目標に取り組みた  
い。

総合的なまちづくり

問 現在の公共交通網  
で対応できない場合も  
多い。福祉タクシー等  
への助成は。

市長 今後、交通弱者  
は更に増える。買い物  
困難者対策に向けて市  
民調査を実施しており、  
次年度に支援策を協議  
する。

令和6年度  
食料・農業・農村白書

問 基本法が25年ぶり  
に改正され、基本計画  
や白書にも新しい取組  
が見られる。来年度予  
算への反映は。

市長 担い手確保のた  
めの新規就農者支援対  
策事業の年齢・所得額  
制限の撤廃、生産コス  
ト削減のためのドロー  
ン導入支援、畜産の頭  
数の維持・拡大のため

の畜産生産基盤施設整  
備事業の拡充を考えて  
いる。

問 農水省の全補助事  
業等で環境負荷低減  
の「クロスコンプラ  
イアンス(みどりチェッ  
ク)」が令和9年度か  
ら義務化だが。

市長 国へ補助事業を  
申請する際、すでに事  
業主体又は申請者が  
チェックシートを提出  
しており、今後は各事  
業の要綱・要領に準ず  
る対応をする。

ちょっと  
ひとりごと

施設管理もまちづくりも  
課を超えて情報共有ができる  
仕組みづくりを

